

2006年10月20日
株式会社ブロードバンドセキュリティ

BBSec、ソースコードぜい弱性検査サービスを開始
～プログラムのぜい弱性と開発のオーバーヘッドを大幅に削減～

株式会社ブロードバンドセキュリティ（BBSec、本社：東京都新宿区、代表取締役社長：持塚 朗）は、ソースコードセキュリティ対策ソフトウェアを販売するフォーティファイ・ソフトウェア株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：遠藤 玄声）と販売代理店契約を締結し、日本市場に対しソフトウェアの販売を開始すると共に、同ソフトウェアを利用したソースコードぜい弱性検査サービスを開始いたします。

BBSec は、オプティマイゼーションサービスの一環で、ネットワークシステム、セキュリティ、資産の棚卸しなど、お客様のビジネス推進に影響を与える問題点を洗い出しをするサービスを実施しており、セキュリティに関しては Web アプリケーションやネットワークのぜい弱性を外部から検査するぜい弱性検査サービスを実施しております。今回フォーティファイ・ソフトウェアとの販売代理店契約により、システムをソースコードレベルで解析し、ぜい弱性を検査するサービスを開始いたします。このサービスの提供により、お客様のネットワークシステムのより深い部分へ踏み込んだ検査が可能になり、システムの耐セキュリティ性、可用性の向上を図ることが可能になります。ソフトウェア開発への利用では、ぜい弱性を開発段階で発見できるため、セキュリティリスクの低減と手戻り等の開発オーバーヘッドを軽減いたします。また、開発の初期段階から適用することにより、コーディングガイドラインの適用状況やコードレビューの生産性向上、テスト段階前にコード検査が可能になり、開発段階の作業工数を大幅に削減することが可能です。

<サービスの特徴>

- 50,000 種類以上のぜい弱性ノウハウを使い、C/C++、Java、JSP、C#、VB.NET、PL/SQL、TSQL、XML のぜい弱性を発見、修正の支援が可能
- 小規模アプリケーションから数千、数万個のモジュール構成の大規模アプリケーションまで様々な規模に対応可能
- 複数の言語が組み合わされたソースコードの検査が可能
- 独自ルールの作成により、自社のコーディングルールやセキュリティポリシーを含めた検査が可能
- ソフトウェアの出荷検査、開発途中での検査等、ソフトウェア開発のさまざまな段階での利用が可能
- Oracle、Goldman Sachs、eBay、JPMorgan、AT&T、US AIR FORCE 等 100 社以上に採用
- 検査結果のご提示（基本サービス）に加えて、必要に応じてご提供結果に対するコンサルティングを実施

サービス開始時期:	2006年11月1日
サービス価格:	100万円（2週間の利用、および検証結果のご提示）～
サービス対象企業:	金融機関（システム受入検証・・・業務委託監視等に適応） 開発・SI事業会社（開発の手戻り防止～コーディングルールの均一化・確立を望まれる企業）
販売目標:	サービスご提供として初年度3000万円、次年度6000万円

※オプティマイゼーションサービス：BBSecの4つサービスの一つでネットワークシステムが抱える問題点を洗い出すサービス。他に、インテグレーションサービス、トラフィック&アプリケーションエクステンションサービス、マネージメントサービスがある。



NEWS RELEASE

【本リリースに関するお問合せ】

株式会社ブロードバンドセキュリティ
有本 皓（ありもと ひろし）
TEL：03-5338-7424
E-mail：press@BBSec.co.jp

【サービスについての問い合わせ】

株式会社ブロードバンドセキュリティ
営業本部
TEL：03-5338-7425
E-mail：sales@BBSec.co.jp